



島根県

令和2年度  
ふるさと島根寄附金活用事業成果報告書  
～令和2年度寄附金を活用した事業の成果～

(問い合わせ先)

〒690-8501 松江市殿町1番地

島根県政策企画監室

電話番号：0852-22-6840

FAX番号：0852-22-6034

電子メール：kifu@pref.shimane.lg.jp

## ～目 次～

1	活用成果の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- 1 -
2	寄附金を活用して実施した事業の成果・・・・・・・・	- 3 -
	（1）産業の振興に関する事業・・・・・・・・	- 3 -
	（2）自然環境の保全に関する事業・・・・・・・・	- 6 -
	（3）医療・福祉の充実に関する事業・・・・・・・・	- 9 -
	（4）教育・文化の振興に関する事業・・・・・・・・	- 12 -
	（5）子どもの読書活動の促進に関する事業・・・・・・・・	- 15 -
	（6）竹島の領土権の確立に関する事業・・・・・・・・	- 20 -
	（7）森林の保全及び整備に関する事業・・・・・・・・	- 22 -
	（8）防災対策の推進に関する事業・・・・・・・・	- 23 -
	（9）移住・定住の促進に関する事業・・・・・・・・	- 26 -
	（10）結婚・出産・子育ての支援に関する事業・・・・・・・・	- 28 -
	（11）新型コロナウイルス感染症対策に関する事業・・・・・・・・	- 31 -

# 1 活用成果の概要

- 令和元年度は1,352件、25,164,754円の寄附をいただきました。
- 令和2年度は2,038件、41,171,128円の寄附をいただきました。

いただいた寄附は、ふるさと島根基金に積立て、次のとおり令和2年度の事業に一部を活用させていただきました。

寄 附 メニュー	寄附を活用した 事業費（円）	令和元年度 寄付額（円）	令和2年度 寄附額（円）
産業の振興	40,750,619	1,886,000	1,863,500
自然環境の保全	7,176,723	2,846,622	3,170,000
医療・福祉の充実	4,510,255	2,730,000	3,970,000
教育・文化の振興	1,764,000	1,515,000	2,032,000
子どもの 読書活動の促進	2,257,000	1,635,000	1,630,000
竹島の領土権の確立	8,462,000	5,276,132	4,542,905
森林の保全及び整備	4,111,584	775,000	623,000
防災対策の推進	1,054,059	560,000	530,000
移住・定住の促進	13,416,000	500,000	※340,000
結婚・出産・子育て の支援	3,674,500	2,140,000	※1,361,500
新型コロナウイルス 感染症対策事業	153,522,000	—	14,068,223
指定なし	—	5,301,000	※7,040,000
合計	240,698,740	25,164,754	41,171,128

※令和元年度以前は、寄附から事業完了までに最長で2年半近くが経過する場合がありますが、成果をより実感できるよう令和2年度から当該年度の寄附は当該年度の事業に活用するように、運用を変更いたしました。

また令和2年度から寄付金が集まらず、財源が不足することに備え令和元年度分及び平成30年度後半分の寄付金を基金に積み立てました。

今後は当該年度の寄附金を使用し、不足分は基金を取り崩し対応いたしません。

※「結婚・出産・子育ての支援」分の一部は、「医療・福祉の充実」の事業と併せて活用させていただきました。

※「事業の指定なし」分は、「移住・定住の促進」に配分して活用させていただきました。

## 2 寄附金を活用して実施した事業の成果

### (1) 産業の振興に関する事業

#### 【対象事業】

- ① 地域 IT 人材育成・確保強化支援事業
- ② 島根県グローバル人材育成支援事業
- ③ 出雲コーチン種生産対策事業

#### 【事業の成果及び事業費】

- ① 地域 IT 人材育成・確保強化支援事業

将来の島根県のIT産業を担う人材を育成するため県内各地域のIT産業が求める人材ニーズに沿って、県内IT企業と専門高校等が連携したモデル授業を行いました。島根大学、松江高専などの高等教育機関では高度IT人材育成を目的とした実践的な講座を実施しました。

事業費：37,421千円

#### (1) 専門高校等の生徒を対象としたIT人材育成モデル授業

##### i) 出雲商業高等学校

- ・情報処理科3年生から選抜された15名を対象に、校内における課題解決のためのシステムやアプリを開発する授業を行いました。
- ・地元企業による指導のもと、生徒は5チームに分かれて開発を進め、2月の成果発表会で各チームが開発したシステムを発表しました。
- ・うち1チームが松江オープンソース活用ビジネスプランコンテストで学生部門奨励賞を受賞しました。



授業の様子



最終発表会の様子

##### ii) 松江商業高等学校

- ・情報処理科3年生36名を対象に、コロナ禍における課題を解決するシステムを開発する授業を実施しました。

- ・地元企業の指導のもと、生徒は9チームに分かれて開発を進め、2月の成果発表会でそれぞれが開発したシステムを発表しました。
- iii)情報科学高等学校
- ・マルチメディア科3年生5名、情報処理科3年生2名、情報システム科3年生7名（合計14名）を対象に、地元企業・団体の課題解決を目的とした企画・提案を行いました。
  - ・地元企業・団体の協力を得ながら、システム・アプリの開発、効果検証を実施しました。
- iv)浜田商業高等学校
- ・情報処理科3年生39名を対象に、身近な課題をITで解決するビジネスモデルの発案と基礎的な技術を習得する授業を実施しました。
  - ・地元企業の指導のもと、生徒は14チームに分かれて地域や身の回りの課題を題材に、問題設定及びアイデア出し、仮説・検証を通じてITを利用したビジネスモデルを作成し、1月の最終発表会でプレゼンを実施しました。
- v)隠岐高等学校
- ・商業科3年生28名を対象に、地元企業の指導のもと、隠岐の島町ふるさと納税返礼品に利用する隠岐の島町ロゴを作成しました。
  - ・7月の成果発表会では、10チームがそれぞれ作成したロゴについてプレゼンを実施しました（ロゴの特徴やロゴに込めた思い等を発表）。
  - ・10チームの案の中から1つのロゴを選定し、返礼品を紹介するチラシを作成し、作成したチラシを返礼品に同封しました。
- vi)邇摩高等学校
- ・総合学科2年生14名を対象に、地域や自己及び他者の課題を解決する能力を習得するための講義を、アクティブラーニング方式で実施しました。
  - ・上記講義で学んだことを活かし、地元企業の指導のもと、地域活性化のためのHPを作成し、3月の成果発表会でプレゼンを実施しました。

## (2)島根大学「高度IT人材育成事業」

- ・総合理工学部知能情報デザイン学科2、3年生88名を対象に、地元IT企業と共同でITを利用して地域課題を解決する実践的な講座を実施しました。
- ・受講した学生は教官や企業の指導のもと高度な開発技術を習得し、県内企業への理解も深めました。
- ・12月の最終発表会では、企業と共同で作成したビジネスモデルのプレゼンを実施しました。
- ・うち2チームが松江オープンソース活用ビジネスプランコンテストで賞を受賞しました（学生部門優秀賞：1チーム、奨励賞:1チーム）

(3) 松江工業高等専門学校

- ・情報工学科3、5年生10名を対象に、デザイン思考を活用したサービス開発を体験するワークショップを開催しました。
- ・講師は専門性の高い知識、技術が求められるため、県外から招聘しました。

(4) 学校法人斐川コア学園

- ・情報システム科1、2年生を対象に、センサーネットワーク及び自動制御、遠隔計測等の技術を習得する講座を実施しました。
- ・地元IT企業の協力のもとで出場したETロボコン2020では2大会連続で地区大会を突破しました（中四国地区大会：2020年度は2位、2019年度は県勢初の総合優勝）。

【事業の成果及び事業費】

② 島根県グローバル人材育成支援事業

島根県内企業でのインターンシップと海外留学を通じて、卒業後、県内産業・地域活性化に貢献するグローバルな人材を育成し、県内への定着を図ることを目的として、県内外の高等教育機関に通う学生を選定し派遣を行っています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により採用中止となったため、寄附金は不要となりました。

事業費：2,649千円

【事業の成果及び事業費】

③ 出雲コーチン種生産対策事業

大正から昭和にかけて島根県内で飼育され絶滅危機にあった「出雲コーチン」の原種保存と特産化に向けた生産振興を図ります。

事業費：680千円

(1) 生産者、JA、出雲市、出雲農林高校、島根県畜産技術センターを構成組織とする「出雲コーチン利用促進協議会」を設立し、原種保存・ブランド化の取組みを開始しました。

- ・「出雲コーチン原種」の有精卵を、畜産技術センターに設置した孵卵器で孵化させています。令和2年度の原種羽数は、前年度に対して5羽増加しました。また、ワクチンプログラム、消毒、鶏舎確認による衛生対策を実施しました。（鳥インフルエンザの発生なし）

(2) 「出雲コーチン原種」の配布

- ・「出雲コーチン原種」保存について、鳥インフルエンザ等による危険分散を図るため、飼育を希望する2名に対して、計9羽を配布しました。

## (2) 自然環境の保全に関する事業

### 【対象事業】

- ① 宍道湖・中海賢明利用推進事業
- ② 三瓶姫逃地外来植生除去事業

### 【事業の成果及び事業費】

- ① 宍道湖・中海賢明利用推進事業

自然豊かな宍道湖・中海への関心を深めてもらうとともに、水質保全等の環境意識を高め、ラムサール条約の柱である、保全再生、賢明な利用（ワイズユース）、環境教育、交流、普及啓発の事業を実施しました。

事業費：6,728千円

- (1) 水辺に親しむ環境学習・普及啓発事業

- i) 湖沼環境モニター調査

周辺住民の参加により人の五感で宍道湖・中海の評価を行う「湖沼環境モニター」事業を実施しました。（モニター数 85名、2団体）

- ii) 宍道湖・中海流入河川調査

学校や公民館等において、小中学生に流入河川の水質等の調査を行ってもらい、学習発表会やポスター作成などの優秀な取り組みを行った団体を表彰しました。（参加団体37）



流入河川調査

- (2) ラムサール・大型水鳥啓発事業

- i) 普及啓発

宍道湖・中海とラムサール条約について紹介し、賢明な利用を推進するため、宍道湖・中海の魅力展（パネル巡回展）を10回開催しました。また、普及啓発パンフレットの作成、配布を行いました。



ラムサールパネル巡回展

ii) 大型水鳥を活用した広域ネットワーク支援事業

トキ・コウノトリが生息できるビオトープづくりの学習会や、親子体験イベント「田んぼで生きもの探し」を県、出雲市・雲南市及び民間団体などで構成する協議会の事業として開催しました



出雲・雲南大型水鳥ネットワーク

(3) 宍道湖・中海ラムサール条約登録15周年記念事業

i) 宍道湖・中海ラムサール条約登録15周年記念イベント「地域の宝を未来へつなごう」を鳥取県と共同で開催し、その様子を収録した動画を県ホームページに公開しました。



ラムサール登録15周年イベント

【事業の成果及び事業費】

② 三瓶姫逃池外来植生除去事業

三瓶姫逃池に植生する県の天然記念物「カキツバタ」を保護するため外来生物の「セイヨウスイレン」について除去しました

事業費：449千円

(1) セイヨウスイレン除去については、これまで手作業や重機等で葉や茎の刈り取りにより増殖抑制を図ってきたところではありますが繁殖力も強く、完全な抑制は困難な状況でした。

今年度については、令和3年3月にセイヨウスイレンの生息地に遮光シートを張ることで光合成を防ぎ根元から枯死させる取組みを実施しました。効果について、定期的な観察により把握していくこととしています。



新聞記事

### (3) 医療・福祉の充実に関する事業

#### 【対象事業】

- ① がん関連図書整備事業
- ② がん患者社会生活応援事業
- ③ 障がい者施策支援事業（ヘルプマーク普及事業）

#### 【事業の成果及び事業費】

- ① がん関連図書整備事業

がんに関する知識の普及を図るため、がんの一般知識、闘病記、小児・AYA 世代に関する図書等を購入し、県立図書館に設置します。

事業費：530千円

- (1) 令和2年度より、寄附金の活用を開始しました。寄附金の活用により、がんの最新情報が掲載された新刊図書を購入し、9月の「がん征圧月間」に県立図書館ロビーにて展示を行う等、がん情報を広く閲覧いただくことが可能になりました。

#### 【内訳等】

冊数 132冊

補助額 530,000円（内、ふるさと寄附金530,000円）



県立図書館ロビーでの展示

#### 【事業の成果及び事業費】

- ② がん患者社会生活応援事業

がん治療によって乳房切除や脱毛などを余儀なくされた患者さんに対し、補整下着及び医療用ウィッグの購入費を助成することで外見変化に関する悩みを軽減し、社会生活参加を促します。

事業費：1,855千円

(1) 昨年度比23件増の100件の助成を実施しました。

県のホームページや県内のがん診療連携拠点病院等のがん相談支援センターなどで広報を行い、幅広い年代の方にご活用いただきました。

【内訳等】

件数 100件（ウィッグ 93件、補整下着 7件）

補助額 1,855,000円（内、ふるさと寄附金1,300,000円）

※2万円を上限とし、購入金額の1/2を助成

事業初年度（H29年度）と比較すると申請件数は2倍以上となっており、助成を受けられた方からは「助成があることで助かります。」などのご感想をいただいています。

この事業が広まるとともに、がん患者の就労等の社会参加の促進や療養生活の質の向上に寄与していると考えます。



令和2年度 島根県がん患者社会生活応援事業補助金

～ ウィッグ・補整下着の購入経費補助 ～

島根県は、がん患者の皆様の就労等社会参加を促進し、療養生活の質の向上を図るために、補整具の購入費用の一部を補助します。

1 対象となる補整具

令和2年4月1日から令和3年3月31日までに購入した以下の補整具

- ① ウィッグ（全頭用）、装着に必要な頭皮保護用のネット
- ② 補整下着、補正パッド、人工乳房等の胸部補整具

2 補助額

購入経費の1/2

※2万円を上限とし、1千円未満の端数が生じた場合には、これを切り捨てた額

3 補助金の交付

次項の「補助の対象となる方」のために対象の補整具を購入した方（対象がん患者本人又は3親等以内の親族）に対し、予算の範囲内で補助金を交付します。補助金の交付は、対象者1人当たり①ウィッグ等②補整下着等、それぞれ1回です。

4 補助の対象となる方

次の①～⑤のすべてに該当する方

- ① 島根県に住所を有している方
- ② がんと診断され、がん治療を受けた又は現に受けている方
- ③ がん治療に伴い脱毛又は乳房を切除し、補整具を購入している方
- ④ 市町村民税（所得割）課税年額が235,000円未満の世帯に属する方
- ⑤ 申請を行う補整具に対して、他の補助金等を受けていない方



6 申請期限

令和3年3月31日（消印有効）

※住民票など全ての書類が年度内の日付である必要がありますので、年度末に購入される場合はご注意ください。

7 交付までの流れ

下記の【申請書の提出先】へ「島根県がん患者社会生活応援事業補助金交付申請書兼実績報告書」及び「領付書類」を郵送または持参してください。県が申請書等を審査の上、補助金を交付する場合は交付決定通知書を郵送し、交付決定日から30日以内にご指定の口座へ振り込みます。振り込みは、申請書等に不備がなければ、書類が県に届いてから2～3ヶ月程度となります。交付できない場合は、その旨を文書でお知らせし、申請書等はお返しします。

8 その他

予算の範囲内での交付となりますので、諸要件を満たしていても交付できない場合もあります。年度途中で補助額が予算額に達した場合は、島根県のホームページでお知らせします。また、交付決定に当たって年齢を配慮する場合があります。

【申請書の提出先・問合せ先】

島根県 健康推進課 がん対策推進室

住所 〒690-8501 島根県松江市殿取1番地

電話 0852-22-5060

メール gantaisaku@pref.shimane.lg.jp

HP 「島根県 ウィッグ 補助」で検索してください。

○この補助金は「ふるさとを応援したい」という思いをお持ちの方が県に買付された「ふるさと島根寄付金」を財源としています。

○ご感想などを寄せていただけたら幸いです。ご感想を県のホームページ等で紹介するときは、個人が特定されないようにいたします。

○県がアピランス講演会等を開催する場合は、ご案内させていただきます。申請の際にもお知らせください。

○県がこの補助金に関するアンケートを実施する場合は、ご協力をお願いします。

○県のホームページに補助金交付実績とQ&Aを掲載いたしますので、ご確認ください。なお、Q&Aは随時更新します。



【画】 島根県 桜々水恵さん

がん患者社会生活応援事業パンフレット

【事業の成果及び事業費】

③ 障がい者施策支援事業（ヘルプマーク普及事業）

外見からは援助や配慮を必要としていることが分かりにくい方が、周囲に配慮を必要としていることを知らせるための「ヘルプマーク」の普及を図り、必要とされる方に交付しました。

事業費：2,125千円

- 市町村や公共施設等に掲示するチラシを作成し、ヘルプマークの周知を図りました
- 障がいの特性や必要な配慮を学び実践する「あいサポート運動」の、研修用DVDにヘルプマークの意味や必要な援助を盛り込み、ヘルプマークへの理解を促進しました。

ヘルプマーク交付数 713枚

あいサポート研修回数 125回



英字版ポスター

## (4) 教育・文化の振興に関する事業

### 【対象事業】

- ① 島根県立美術館「島根ゆかりの美術」調査研究及び普及啓発事業
- ② 島根県所蔵の美術作品を活用した教育文化振興事業

### 【事業の成果及び事業費】

- ① 島根県立美術館「島根ゆかりの美術」調査研究及び普及啓発事業

山陰で生まれ、生涯山陰で写真を撮り続け、国際的な評価を得た写真家・植田正治（1913-2000）。ひろがる空のもと、境港・恵曇海岸・鳥取砂丘などの砂浜で人物を構成して撮影した砂丘群像演出写真をはじめ、「植田調」と称される独自のスタイルを貫いていった。少年時代からひたすら写真へ情熱を傾け、洗練されたモダニズムの粹に達した植田正治の貴重な写真コレクションを、昭和初期からの同時代の作家の作品とともに約100点展観しました。

事業費：715千円

- (1) コレクション展には、通常広報物の作成費がないが、寄付金を活用させていただき、はがきを作成することができ、広く周知できました。全国紙『日本カメラ』には1ページを使い「今月のPICK UP」として紹介されました。



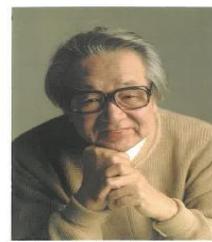
コレクション展スケジュール

- (2) 郷土の誇る写真家の作品と生涯を、より理解いただくため、「写真家・植田正治の物語」というパンフレットを作成し、好評でした。



写真家・植田正治の物語

島谷典子 島根県立美術館学芸員



植田正治 年譜

- 1919年 3月29日、島根県野野原郡大田町(現大田市)に生まれる。
- 1927年 三政院の旧制大田中学校3年の頃から写真に興味を覚える。
- 1933年 大田町立大田小学校に入学。
- 1935年 1年1学期に大田小学校で学芸会に出演。
- 1937年 1学期に大田小学校で学芸会に出演。2学期に大田小学校で学芸会に出演。
- 1943年 大田町立大田小学校で学芸会に出演。
- 1947年 1学期に大田町立大田小学校で学芸会に出演。2学期に大田町立大田小学校で学芸会に出演。
- 1949年 大田町立大田小学校で学芸会に出演。2学期に大田町立大田小学校で学芸会に出演。
- 1951年 大田町立大田小学校で学芸会に出演。2学期に大田町立大田小学校で学芸会に出演。
- 1953年 大田町立大田小学校で学芸会に出演。2学期に大田町立大田小学校で学芸会に出演。
- 1955年 大田町立大田小学校で学芸会に出演。2学期に大田町立大田小学校で学芸会に出演。
- 1957年 大田町立大田小学校で学芸会に出演。2学期に大田町立大田小学校で学芸会に出演。
- 1959年 大田町立大田小学校で学芸会に出演。2学期に大田町立大田小学校で学芸会に出演。
- 1961年 大田町立大田小学校で学芸会に出演。2学期に大田町立大田小学校で学芸会に出演。
- 1963年 大田町立大田小学校で学芸会に出演。2学期に大田町立大田小学校で学芸会に出演。
- 1965年 大田町立大田小学校で学芸会に出演。2学期に大田町立大田小学校で学芸会に出演。
- 1967年 大田町立大田小学校で学芸会に出演。2学期に大田町立大田小学校で学芸会に出演。
- 1969年 大田町立大田小学校で学芸会に出演。2学期に大田町立大田小学校で学芸会に出演。

パンフレット

(3) パネルなど展示造作を作成することができ、会場での作品理解の一助となりました。

【事業の成果及び事業費】

③ 島根県所蔵の美術作品を活用した教育文化振興事業

津和野町出身の永田生慈が所有していた世界屈指の北斎コレクション約2,400件が平成29年度に島根県に寄贈され、その後島根県立美術館に保管されています。

そのコレクションは島根県立美術館と島根県立石見美術館でのみ公開が許されており、令和2年度に島根県立石見美術館で展覧会を開催する運びとなりました。

本事業では、島根県が有する世界に誇るコレクションを初めて石見の地で展覧会として紹介するにあたり、これからの世代を担い継承していく子どもたちや、これまで文化に触れることの少なかった県内外の方にも分かりやすく親しみやすい形で「やさしいガイドブック」を作成し、教育や文化の振興に役立てていきます。展覧会会期中には、周辺の小中学校等にガイドブックの配布を行い、ガイドブックによる展示解説を行うなど積極的な普及啓発を行うとともに、会期後にも様々な形で活用していきます。

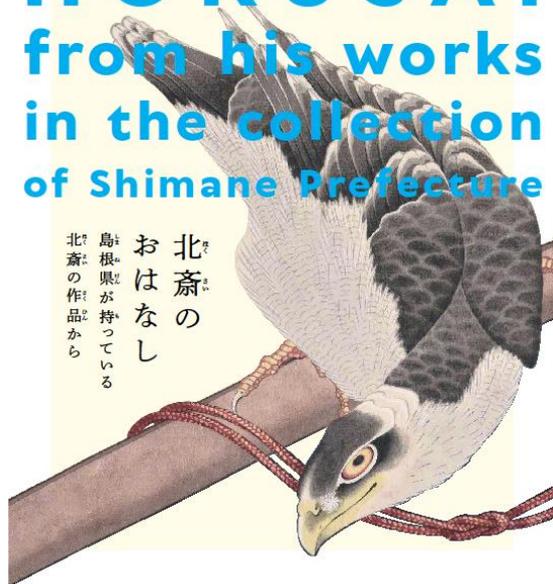
事業費：1,049千円

(1) 島根県立石見美術館での企画展「北斎—永田コレクション名品展」の開催に合わせて、「永田コレクション」に関する鑑賞ガイド「北斎のおはなし 島根県が持っている北斎の作品から」（A5版、16頁）を20,000部発行しました。

(2) 鑑賞ガイドは、島根県内の小中学校へ配布するとともに、展覧会会期中には展示室の入場口でも、来館者の年齢を問わず配布しました。石見美術館で配布しきれなかった分については、展覧会閉幕後に島根県立美術館（松江市）に送付し、今後の「永田コレクション」の展示で活用していくこととしました。

(3) 今回、鑑賞ガイドを作成したことにより、島根県内外の方々が、北斎の生涯と作品、津和野町出身の永田生慈氏の存在、さらには島根県へ寄贈された「永田コレクション」の重要性に関して、理解と関心を深めることができました。

## THE STORY of HOKUSAI from his works in the collection of Shimane Prefecture



北斎の  
おはなし  
島根県が持っている  
北斎の作品から

北斎展鑑賞ガイドWEB用

## (5) 子どもの読書活動の促進に関する事業

### 【対象事業】

- ① おすすめしたいこどものほん事業
- ② 学校図書館活用教育図書整備事業
- ③ ビブリオバトル島根県大会開催事業

### 【事業の成果及び事業費】

- ① おすすめしたいこどものほん事業

推薦図書リスト「おすすめしたいこどものほん」に掲載する図書を購入し、市町村図書館等への貸出や巡回展示を実施しました。

事業費：1,620千円

- (1) 推薦図書リスト「おすすめしたいこどものほん」（乳幼児向け、小学生向けの2種類）に掲載する本の選書、並びに図書の購入を行い、県民や図書館、学校等の団体に貸出を行いました。
- (2) 市町村図書館、幼稚園、読み聞かせボランティア等の活動に役立てるために、県立図書館地域支援室と西部読書普及センターの2箇所に、リストに掲載された図書を整備し、6市町村で巡回展示を7回実施し、県立図書館では7月から9月の3か月間、「おすすめしたいこどものほん2020」の展示・貸出を行い、夏休み中の子どもたちに利用していただきました。

### 【購入冊数内訳】

島根県立図書館こども室 選書・貸出用 323冊

島根県立図書館地域支援室 貸出・巡回展示用 322冊

島根県西部読書普及センター 巡回展示用 166冊 合計811冊





島根県立図書館資料展示の様子

【事業の成果及び事業費】

② 学校図書館活用教育図書整備事業

島根県立図書館が、すべての市町村に寄託している「学校図書館活用教育図書」について、内容の古くなった図書や、教科書の改訂で新たに必要となった図書の買換えや補充を行いました。

事業費：437千円

(1) 令和2年度は各市町村からの要望に応じて、19市町村の公共図書館等125冊の図書を寄託しました。

また、島根県立図書館にも20冊の図書を受入し、直接来館や市町村の公共図書館を通じて、学校や個人に貸出できるように整備しました。

これによって、学校での図書館活用教育が一層充実するとともに、県内の公共図書館と学校図書館の連携が深まりました。

購入冊数・・・145冊

事業費・・・437千円

購入冊数内訳

- ・松江・・・7冊
- ・安来・・・8冊
- ・出雲・・・5冊
- ・雲南・・・8冊
- ・奥出雲・・・6冊
- ・飯南・・・7冊
- ・浜田・・・8冊
- ・大田・・・7冊
- ・江津・・・6冊
- ・川本・・・6冊

- ・美郷・・・6冊
- ・邑南・・・6冊
- ・益田・・・7冊
- ・津和野・・・6冊
- ・吉賀・・・6冊
- ・海士・・・7冊
- ・西ノ島・・・7冊
- ・知夫・・・6冊
- ・隠岐の島・・・6冊
- ・県立図書館・・・20冊

【事業の成果及び事業費】

③ 全国高等学校ビブリオバトル島根県大会開催事業

言葉の力や表現力によって、高校生たちが互いに本の魅力を紹介し、最も読みたくなった本を参加者の投票で決定するビブリオバトル島根県大会を開催しました。

事業費：200千円

- (1) 県内の高等学校から9名の高校生が発表者として参加し、全国高等学校ビブリオバトル2020島根県大会を開催しました。



パンフレット

当日は発表者それぞれが、読んで面白いと思った本を紹介し、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準に、観戦者や運営スタッフを含む参加者全員の投票で「チャンプ本（最多票を集めた本）」を決めました。

この大会を通じて、開催の趣旨である「人を通じて本を知る。本を通じて人を知る。」というビブリオバトルの理念に基づき、読書活動を推進し、言語能力・コミュニケーション能力の向上を図る機会とすることができました。また、広く県民に観戦者としての参加を呼びかけ、発表者とともに読書の楽しみを共有する場とすることもできました。

【開催概要】

日時：令和2年12月12日（土）13:00～16:40

場所：島根県立大学浜田キャンパス

大会参加者：約100名（発表者、運営スタッフを含む）

新聞記事

## (6) 竹島の領土権の確立に関する事業

### 【対象事業】

竹島の領土権確立対策事業

### 【事業の成果及び事業費】

竹島の領土権確立対策事業

竹島問題の解決に向け、国民世論の啓発を図るため、広報啓発活動等を行いました。

事業費：8,462千円

### (1) 竹島問題を考える講座の開催

竹島問題への理解を深めるため、竹島問題の研究者等を講師に招き、一般向けの講演会を3回開催しました。

	講師	会場
第1回	九州大学 教授 永島広紀氏	松江市
第2回	竹島問題研究顧問 升田優氏	隠岐の島町
第3回	拓殖大学 教授 下條正男氏	浜田市



竹島問題を考える講座

### (2) 広報啓発資料等の作成

竹島問題への関心を高めるため、竹島問題の啓発資料や啓発標語入りの啓発グッズ等を作成しました。

- 竹島学習リーフレット10,000部
- 竹島の日15周年記念誌増刷5,000冊
- 第4期研究会最終報告書抜刷2,300冊
- 啓発グッズ（シャープペンシル4,800本、缶バッジ900個）
- 竹島啓発ポスター1,500枚
- 啓発小冊子 1,500冊
- 資料室パンフレット30,000部



広報啓発グッズ等

### (3) 竹島資料室の展示内容の充実

- 出張竹島資料室の開催（8月：雲南市、9月：隠岐の島町）  
竹島資料室展示資料の出張展示を県内2会場で実施しました。
- 夏季企画展示の開催（7月22日～8月31日）  
夏休み期間中に子ども向けの企画展示を実施しました。



夏季企画展示

- 竹島の日記念特別展示の開催（1月13日～3月29日）  
「第4期島根県竹島問題研究会のあゆみ」をテーマに、特別展示を実施しました。
- 竹島資料室学生解説員の配置（10月1日～11月30日）  
若年層への啓発の取り組みとして、大学生2名に学生解説員を委嘱し、来室者へ展示資料の解説を実施しました。



学生解説員

## (7) 森林の保全及び整備に関する事業

### 【対象事業】

森林林業体験活動推進事業（県民の森整備費）

### 【事業の成果及び事業費】

森林林業体験活動推進事業（県民の森整備費）

景観維持・安全確保・快適利用のため、県民の森の環境整備等を行いました。

事業費：4,112千円

- (1) 県民参加の森づくり活動の一環として、気軽に参加できる講座を充実させ、県民が森林や自然とふれあう機会を創出し、県民の森林や林業に対する理解を深め、水を育む緑豊かな森を次世代に引き継いでいく県民意識の醸造を図りました。



森づくり活動

- (2) 令和2年度は11回の県民の森ふれあい講座を開催し、登山や丸太を使った椅子作り等に延べ191人の参加がありました。  
また、森林林業体験活動のフィールドとなる県民の森において、枯損木の除去や遊歩道の整備などの環境整備を行い、景観の維持、訪れた利用者の安全確保と快適利用を図りました。



県民の森ふれあい講座

## (8) 防災対策の推進に関する事業

### 【対象事業】

地域防災人材育成研修

### 【事業の成果及び事業費】

地域防災人材育成研修

地域の防災力向上に向けて、自主防災組織の結成及び活動促進、防災意識向上につながる研修を実施しました。

事業費：1,054千円

(1) 自主防災組織の活動促進に向けた研修を行いました。

～防災安全講演会の開催～

#### ・開催日時及び場所

日時 令和3年2月 28 日（日）13：30～15：30

会場 松江テルサ テルサホール

#### ・講演内容

演題1 「防災気象情報の利活用について」

講師 松江地方気象台長 栗原 茂久 氏



松江地方気象台による講演

演題2 「子育て家族のコツコツ防災術 ～家族みんなで防災を考えよう !!!!～」

講師 危機管理教育研究所代表 国崎 信江 氏



国崎講師による講演

- 主催：島根県、松江地方気象台
- 後援：国立大学法人 島根大学自然災害軽減教育センター
- 参加者：51名

(2) 防災啓発に関する、各種ポスター・チラシ等を作成しました

- 防災啓発ポスター（4種類）

災害に備える

### 防災について話し合おう

**避難場所や避難経路を確認しておきましょう。**

市町村が作成しているハザードマップ等を用いて、お住まいの地域の危険箇所を調べ、家族や地域の方と避難場所や避難する道順を話し合っておきましょう。避難場所を確認するだけでなく、安全な経路・知人宅へ避難することも考えてみましょう。

話し合う際のポイント（例）

①自宅は安全か。	②避難場所はどこか。	③地域の危険箇所はどこか。
④どの道を通って避難するか。	⑤子どもや高齢者はどうやって避難するか。	⑥非常持出品を準備しているか。

**避難ルート歩いてみよう**

休日などを利用して、自宅から避難場所まで実際に歩いてみましょう。川のそばや崖に近い場所、橋などはできるだけ避け、安全なルートを確認してください。災害時の状況によっては、避難が進行しなくなる可能性もあるので、複数のルートを考えておくことも大切です。

島根県防災部防災危機管理課

災害に備える

### 非常持出品（水、食料等）の準備

**災害発生時に備えて持出品を準備しておきましょう。**

非常持出品とは、避難するときに持ち出す最低限の必需品です。重すぎると避難に支障が出るので、必要最低限のものをまとめ、すぐに取り出せる場所に保管しておきましょう。

非常持出品チェック表（例）

<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> 食料	<input type="checkbox"/> 寝具セット	<input type="checkbox"/> マスク
<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> 乾電池	<input type="checkbox"/> アルコール消毒液
<input type="checkbox"/> ヘルメット・防災ヘルメット	<input type="checkbox"/> スリッパ	<input type="checkbox"/> 貴重品	<input type="checkbox"/> アルコール消毒液
<input type="checkbox"/> 現金類	<input type="checkbox"/> お菓子類	<input type="checkbox"/> 指輪	<input type="checkbox"/> 体温計

通常の非常持出品に加えて、マスクやアルコール消毒液、体温計を準備しておきましょう。避難所では数に限りがありますので、可能な限り、ご自身でご持参ください。

**家族構成に合わせた準備を**

非常持出品は、マニュアルどおりのものをそろえるだけでは足りません。家族の人数をそろえることはもちろん、家族構成に合わせて必要なものを考えてみましょう。

例えば子どもがいる家庭では、子どもの年齢によって必要なものが変わっていくので定期的に見直すことも大切です。

島根県防災部防災危機管理課



## (9) 移住・定住の促進に関する事業

### 【対象事業】

県外大学生等の県内就職促進事業

### 【事業の成果及び事業費】

県外大学生等の県内就職促進事業

主に県外大学に進学した学生と県内企業が交流する機会をつくり県内就職を促進します。

事業費：13,416千円

新型コロナウイルスの影響により、対面（県外）で予定していた交流会をオンラインに変更し、以下のとおり実施しました。

### (1) しまねインターンシップコレクション（オンライン）

- ・ 日時 R2年11月21日（土）、12月12日（土）
- ・ 内容 各企業が、大学生向けのインターンシップ内容を学生に説明し、意見交換を実施しました。
- ・ 参加学生 60人
- ・ 参加企業 24社



パンフレット

インターンシップコレクションの様子

(2) しまね、とっとり合同セミナー（オンライン）

- ・ 日時 R3年2月6日（土）
- ・ 内容 学生の業界研究を支援するため学生と企業の交流会を行いました。
- ・ 参加学生 20人
- ・ 参加企業 13社



しまね、とっとり合同セミナーのパンフレット

(3) しまねタイム（オンライン）

- ・ 日時 R3年2月27日（土）
- ・ 内容 企業の採用担当者等と学生との交流を通じて、県内就職意識を醸成しました。
- ・ 参加学生 30人
- ・ 企業参加者 4人



しまねタイムのパンフレット

## (10) 結婚・出産・子育ての支援に関する事業

### 【対象事業】

- ① しまね保育実習等旅費支援事業
- ② 新婚夫婦の家事手帳
- ③ パパの育児手帳（父子手帳）

### 【事業の成果及び事業費】

- ① しまね保育実習等旅費支援事業

県内での就職を促すため、県外の学生が県内保育所等で実習する場合の旅費の一部を助成しました。

事業費：694千円

- (1) 卒業後に島根県内での就職を促すとともに、ひいては子どもを安心して育てることができる環境整備を目的に、平成29年5月から事業を開始しました。

主に岡山県、広島県など中国地方を中心に、近畿や九州、関東地方にある指定保育士養成施設の学生42名に対し、島根県内の保育所等で実施した保育実習、就業体験及びボランティアにかかる旅費を助成しました。旅費を助成した42名のうち、令和3年3月に卒業の学生は、25名でした。

そのうち進路先が判明している12名のうち、12名の方が島根県内の保育所等に就職が決定し、現在各保育所等で保育士として活躍されています。

【事業費：693,500円】

#### <事業内容>

- ・旅費助成：42名
- ・事業啓発用チラシ作成、郵送

**島根県外の保育士養成施設に学ぶ学生**  
**しまね保育実習等**  
**旅費支援事業のご案内**

島根県外の保育士養成施設に就学する学生の方が、県内の保育所で保育実習や就業体験やボランティアを行う際の旅費を助成します。実習等を通じて、県内の保育所や子供達の様子を知らせていただき、就職のきっかけとしていただくことを目的としています。

【旅費補助対象】  
 ※この事業は、「ふるさと納税補助金」を活用して実施しています。

**応募資格**  
 島根県外の保育士養成施設（※1）に在学し、島根県内の保育所等（※2）で保育実習や就業体験、ボランティアを行う学生が対象です。

※1 保育士養成施設とは、保育士養成課程（1年制）または保育士養成課程（2年制）の認定する保育士養成する学校の内の施設  
 ※2 保育所、認定こども園及び幼稚園（保育事業用）

**申請方法・添付書類**  
 以下の必要書類を下部の申請書提出先まで提出ください。保育実習等の実施終了日から1ヶ月以内にご提出ください。

① 助成申請書請求書（原簿様式）  
 ② 保育士養成施設に在学していることがわかる書類（学生証の写し、在学証明書等）

**利用の声**  
 この旅費支援事業がなかったら、地元で実習するところへは行かなかったかもしれません。実習も卒業後やボランティア活動でも活用させていただきます。私の気持ちを後押ししてくれたこの事業のおかげも忘れたいです。

この事業のおかげでもっと、地元で実習することへの意欲も高まりました。帰ってきてからは、たくさんお話を聞かせていただき、ありがとうございました。

**よくある質問**  
 Q: 島根県外ではないですが、助成を受けられることはできますか？  
 A: 島根県外の養成施設の学生で、島根県内に実習先がある場合は対象となります。  
 Q: 旅費の領収書などは提出する必要があるですか？  
 A: 領収書の提出は不要です。養成施設と実習先保育所の地域に応じて定額で助成金を支給します。

**募集期間**  
 令和2年4月15日～令和3年3月2日  
 ※期間内に郵送にてご提出ください。  
 ※なお、応募状況によっては、早めに募集を締め切る場合があります。

**お問い合わせ・申請書提出先**  
 島根県社会福祉協議会（島根県福祉人材センター）  
 〒690-0011 島江市東港町1741-3 しんせいプラザ島根2F  
 TEL: 0852-22-5505  
 申請書はホームページにも掲載しています。https://www.shimane-tjc.com/  
 島根県内の保育所一覧もこちらでご覧いただけます。

実習先保育所の所在地	金額
島根県	6,900円
岡山県	6,900円
広島県	6,900円
山口県	6,900円
徳島県	13,800円
香川県	13,800円
愛媛県	13,800円
高知県	13,800円
福岡県	13,800円
佐賀県	13,800円
熊本県	13,800円
大分県	13,800円
鹿児島県	13,800円
沖縄県	13,800円

保育士養成助成チラシ

【事業の成果及び事業費】

② 新婚夫婦の家事手帳

「家のこと分担表」、「わたしたちの未来予想図」など、夫婦の役割分担や将来について考えるきっかけとなるような内容としています。

事業費：787千円

(1) 寄付金を活用し作成した各手帳について、下記のとおり各市町村窓口での配布を行っております。

- 作成部数：10,000部
- 配布時期：市町村での婚姻届提出時等



家事手帳

【事業の成果及び事業費】

### ③ パパの育児手帳（父子手帳）

妊娠、出産、育児それぞれのタイミングで、おさえておきたい父親の心構えや知識について掲載し、自身の働き方や育児について考えてもらえるような内容としています。

事業費：2,195千円

(1) 寄付金を活用し作成した各手帳について、下記のとおり各市町村窓口での配布を行っております。

- 作成部数：15,000部
- 配布時期：市町村での母子手帳交付時等



パパの育児手帳

今後は、より多くの方にご活用いただけるよう、「家事手帳」のアプリ化、「パパの育児手帳」の電子書籍化に取り組むとともに、これから赤ちゃんを迎えるご夫婦を対象に、「パパの育児手帳」を活用したセミナーの開催を予定しています。

## (1 1) 新型コロナウイルス感染症対策に関する事業

### 【対象事業】

- ① “美肌県しまね” 観光総合対策事業
- ② 新型コロナウイルス感染症患者受入医療機関等支援事業

### 【事業の成果及び事業費】

- ① “美肌県しまね” 観光総合対策事業

島根県内の観光施設で利用できる特典を付与したデジタルチケットを発行することで、県内観光施設への誘客と周遊を促進し、観光消費を押し上げ、地域経済の回復に繋げることを目指します。(1000円分の電子チケットを500円で販売しました。)

事業費：96,100千円

#### (1) 令和2年度 販売実績

- 販売数 155,260冊(1,000円/冊)

※令和3年3月31日時点

#### (2) しまねの「美味しい」「うれしい」が当たる！スタンプラリー

- 企画概要：「しまねプレミアム観光券」を購入いただくと施設の利用回数に応じて、島根県産品などの賞品が抽選で当たるスタンプラリーを同時開催しました。
- 商品例
  - ▷ 県産品詰め合わせ
  - ▷ しまね和牛 等

※利用期間を延長して実施中です。

- 令和3年6月30日まで
- 販売枚数 30万冊



しまねプレミアム観光券

【事業の成果及び事業費】

② 新型コロナウイルス感染症患者受入医療機関等支援事業

新型コロナウイルス感染症患者の治療等に従事した医療従事者へ手当を支給した医療機関に対して、その手当の一部を助成しました。

事業費：57,422千円

- (1) 新型コロナウイルス感染症患者の治療等に従事した医療従事者へ手当を支給した医療機関に対して、その手当の一部を助成することにより、対象医療機関における医療従事者の処遇向上に寄与しました。

【補助実績】

- 補助事業者：19医療機関
- 合計補助額：57,422,000円

※対象医療機関

- 病床確保計画における入院医療機関
- 感染症指定医療機関
- その他知事が適当と認めるもの